

平成23年産 米の生産数量目標

43・65トンの減

国では、水田の有効活用により自給率向上を図るため、主食用米の需要拡大と併せて米粉用米、飼料用米の生産・利用の拡大に取り組むこととしています。

また村では、平成二十三年度も生産者の自主的な取り組みを基本に、農業者戸別所得補償制度や水田を活用した産地づくり等、安定した農業収入が図れるよう、関係機関と協力し推進します。

県の生産数量目標

昨年十二月に示された平成二十三年産米の都道府県別生産数量目標によると、米の消費減退とこれに伴う在庫の増加から、全国が生産数量目標は昨年比で十八万ト減少の七百九十五万トとなりました。県産米においても、全国が生産数量目標の大幅な減少等が要因となり、生産数量目標は約五十四・八万トと昨年に

比べ九千四百五十ト減少しました。

市町村の生産数量目標

平成二十三年度は、昨年実施された生産調整の取り組みに関する若干の調整措置も廃止されました。

村の生産数量目標は四千八百十七・六九ト（八万二百九十五俵）。平成二十二年産米と比較して四十三・六五トの減となり、面積換算で九百三十七・二九畝となりました。

制度の転換に 対応した支援策

平成二十三年度から、農業者戸別所得補償制度が本格実施となります。必要な手続き等、具体的な内容については今後説明会等でお知らせしていく予定です。

また、村単独助成による支援も予定しています。

（単身者用向け住宅）
写真はイメージです



若者向け共同賃貸住宅 「メゾン下関」3月完成

用として七戸、子育て世帯向けとして五戸の計十二戸が入居可能となります。

また、村営住宅では初めてオール電化仕様を採用し、人にも環境にもやさしい設計となっているほか、駐車場や倉庫も完備しています。

入居者の募集は、三月上旬に開始し、三月下旬には入居が可能となる見込みです。入居資格は、四十歳未満の人が対象となります。

詳細については、広報せきかわ三月一日号でお知らせする予定です。

問い合わせ先
建設環境課 地域整備班
☎六四 一四七九

村では、若者のニーズに合った集合住宅を提供し、若い世代の人に村に定住してもらうと、若者向け共同賃貸住宅を建設中です。

事業は、昨年九月に民間企業から企画提案を募り、十月に大和リース(株)新潟営業所を選定しました。その後、詳細な設計協議を行い、十一月にリース方式による契約を締結しました。契約期間は、五年

間で、リース期間満了後、村に無償譲渡される特約付の契約です。

総事業費は、約一億六千三百万円ですが、リース方式を採用することで事業費の毎年の負担を均等にし、また、社会資本整備総合交付金事業や過疎対策事業債を活用することで、入居者の家賃負担の軽減を図っています。

建物が完成すると、単身者

建設予定地（大字下関地内）



先生から 先生に



遠藤節子さん

(関川中学校 主査)

随想 リレー

83

学校事務職員としてのスタートは関小学校でした。引継ぎのとき、校長先生が六三三制発祥の地と給食室前の丸い柱について熱く語ってくださいました。三校目で勤務した川北小学校では、運動会に田六さんが長距離走に出場されていました。平四郎さん・小清さんとはおつきあいが続いています。七校目で勤務した土沢小学校では、PTA広報紙の編集に携わりました。最初の年の草取り作業の時「せつちゃん、お久しぶり！」と伊ナ子さんが声を掛けてくださいました。立ち話が続きました。そして、今年度関川中学校に赴任することができました。役員会の時に、渡

節さんに旧姓で声を掛けられびっくりしました。「上関の実家にも遊びにいきましたよ。」「えっ?? ああ下宿の山さんの家ね。」歓送迎会の時は、小学生の頃元気の良かった橋か江さんとも再会することができました。全然変わっていませんでした。(失礼ですね) 会場で保護者の方々のお顔を拝見していると、「野賢さんのお母さんは局に勤務されていた方だな!」「藤広さんのお母さんはPTAの役員をやられていた方だな!」時間と共に昔の記憶は蘇りました。 まだまだこれから懐かしい出会いと新しい出会いを楽しみにしています。

3月1日号は、関川小学校の太田寛子さんにバトンタッチ!

インフルエンザが 流行しています 予防をしっかりと行いましょう

流行状況

県福祉保健部によると、平成23年第2週の状況は、インフルエンザの定点当たり報告数が県内全域で6.77となり、前週(1.94)と比べて大きく増加しています。今後の動向に十分な注意が必要です。

【インフルエンザの症状や予防対策等】

流行期に入り、今後インフルエンザの感染拡大が考えられます。

インフルエンザの感染を防ぐためにも、手洗い・うがいなどをしっかりと行いましょう。

症 状

38 以上の発熱、頭痛・関節痛・筋肉痛等の全身症状、せき、のどの痛みが発症します。

また、気管支炎や肺炎などを併発し、重症化することもあります。

小児の場合、中耳炎や熱性けいれんなどを併発したり、まれに脳炎を引き起こすこともありますので気をつけましょう。

予防対策

- ・バランス良く栄養をとり、体調を整えておく
- ・うがい、手洗いの励行
- ・できるだけ人混みを避け、外出時にはマスクを着用する
- ・室内では、適度な湿度を保つ
- ・感染したと思われる場合は、早めに医療機関で受診する

